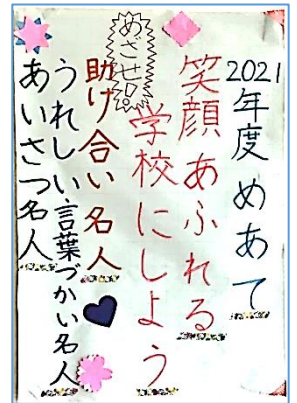


大分教育事務所訪問 Ⅱ

臼杵市立福良ヶ丘小学校から学ぶ

学校の教育目標「豊かな心と学ぶ力を身につけた心身ともにたくましい丘っ子」を育成するために、「『自分から』～進んであいさつ、進んで行動、自分から発信～」をスローガンに、全校児童106名を学級や学年にとらわれず全職員で育てる福良ヶ丘小。子ども達も、児童会を中心に笑顔あふれる学校にするために、3つの名人 → を目指して取り組んでいます。



学校経営から学ぶ

学校の教育目標を子ども達に意識させるために、「おもいやり、かしこく、つよい」について、一人一人に目標を設定させ教室に掲示をしていました。

今後は、この児童の目標（学校、学級の目標）の達成状況を短期で検証することで個々の成長を子どもに実感させると共に、さらに「たくましさ」を明確にするため、本校が育成を目指す資質・能力を「問題発見・解決能力」「表現力」「コミュニケーション能力」をより焦点化することで、教職員も日々の授業においても資質・能力に対する意識が高まると思います。そのようなことを通して、子ども達自身が達成指標や取組指標の目的を理解し努力することになると思います。（目標の連鎖）

お	「こんにちは」というあいさつを、少なくとも1回は、きちんとする(できれば、それらが大人)の自分の周りをよく見て、困っている人がいたら、一歩勇気を出して声をかける。
か	授業に集中し、1日に、2回ぐらいは手を挙げて発表をしてみる。 本を1日に1冊読んで、本力を高める。そのために本を読む習慣を付ける。
つ	もう少し、メンタルを強くし、自分の考えを少し、発表してみる。(伊豆は、宇組や企画委員云々)も、と運動をして、ある程度、体力を付けるために、努力をする。

授業から学ぶ

どの授業も個人で考える場や学び合う時間を保証していたので生き生きと学ぶ姿が印象的でした。特に、3年生の「ありがとうを言いたくなる時」のように何を書いても正解である課題や、5年生の道徳のようにディベートのように立場を決める課題を繰り返すことで、中学校に進学しても個性を発揮できるような子ども達を育てるために有効だと感じました。

今後は、授業の「ふりかえり」の場面で、子ども達がどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、具体的なゴールの姿をイメージすることで、「めあて」との連鎖や、評価規準がより明確になると思いました。



NO.75 2021年6月 臼杵市立福良ヶ丘小学校

たくましさ

最初から上手くはいかない。失敗では無い「未成功」だ。だから、もう一度やってみる



NO.72 2021年6月 臼杵市立福良ヶ丘小学校

良さの再発見

「すごいね」「おなじだね」とお互いで認め合うと、自分の良さを再発見する。



NO.73 2021年6月 臼杵市立福良ヶ丘小学校

おもいやりの連鎖

優しい言葉、うれしい言葉をつなげていくと、自然とおもいやりの気持ちが生まれる。



NO.74 2021年6月 臼杵市立福良ヶ丘小学校

自分からの連鎖

挙手をする友達が増えていくと、私も手をあげてみたくなる。そんな自分の行動が、他の人にも連鎖する。